

2022 AUTOBACS SUPER GT Round 7 FAV HOTEL AUTOPOLIS GT 300km RACE

2022年10月1日(土)

予選 レポート



場所:オートポリス (大分県) 1周 4.674m 観客動員数:6,000人
天候:晴れ | コース:ドライ | 気温/路温 Q1 開始時 25°C/42°C、Q2 開始時 25°C/37°C

得意とするオートポリスで上位を目指す

2022年 SUPER GT シリーズは、第7戦をオートポリス(大分県)で迎えた。上位グリッドを目指し公式練習からセッティングを進めたが、ここオートポリスは路面のグリップが低いこともあり、走り出しから車両のバランスどりに苦戦し、今回も時間ギリギリまでセッティング変更を試した。

10月1日(土)

<公式予選 Q1 B組/ 15:18~15:28>

#61 SUBARU BRZ R&D SPORT は Q1 B組。上位8位以内を目指し今回も井口卓人が担当する。公式練習時より路面のラバーグリップが上がり、セッティング変更もマッチして井口はタイムアップ。計測2周目に1分44秒100のタイムを出し、7番手で Q2へ繋がった。



www.rdsport.net

<公式予選 Q2 / 15:53~16:03>

Q2担当は山内英輝。山内も計測2周目に渾身のアタックで1分42秒796のトップタイムを出す。ライバル勢も果敢にアタックを続けるが、山内のタイムを上回る者はなくポールポジションを獲得した。なお GT500クラスのポールポジションは#24 リアライズコーポレーション ADVAN Z が獲得した。



■澤田監督 コメント



今日の走り出しは路面とのマッチングが想定外に悪く厳しい状況でしたが、エンジニアとメカニックの素早い対応でセッティング変更を行い、予選までには良い状態を整えることが出来ました。結果としてポールポジションを獲得出来たこともとてもいい流れです。明日も攻めの姿勢で挑みます。

予選の詳細に関しては SUPER GTホームページ <https://supergt.net/> 、
またSUBARUモータースポーツマガジン <https://www.subaru-msm.com/2022/sgt/report/> もご覧ください

2022年10月1日
SUBARU BRZ
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net